

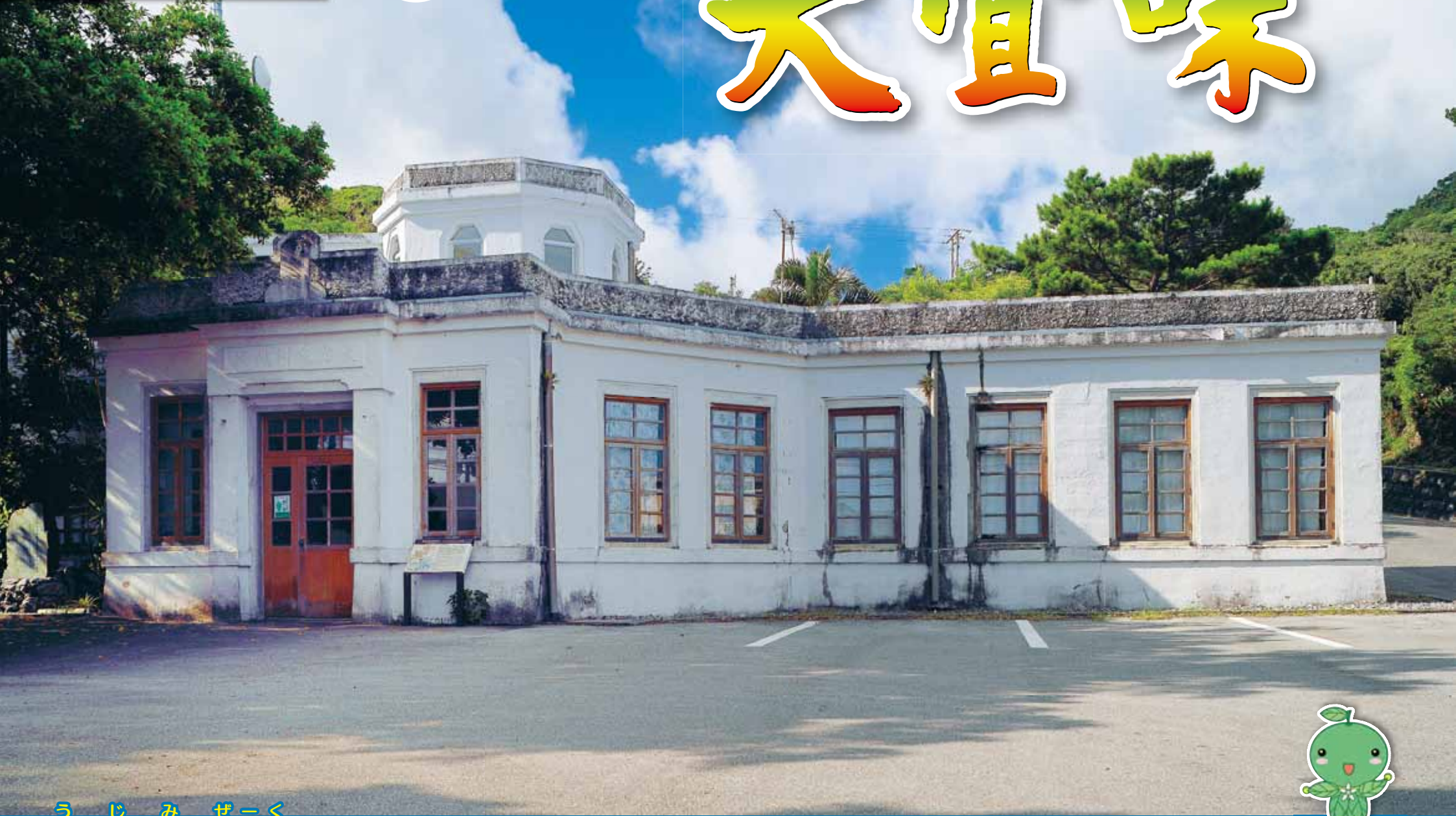
広報 No.260

KOHO OGIMI 2016年11月1日



おおぎみ

大宜味



うじみゼーク

大宜味大工の技 国の文化を背負い 時重ねる



日時: 10月21日
撮影場所: 旧大宜味庁舎

国指定重要文化財（建造物）に 「大宜味村役場旧庁舎」指定



▲ 外 観

これまで県指定有形文化財（建造物）であった大宜味村役場旧庁舎は沖縄県内における最初期の鉄筋コンクリート造建築で、現存する最も古い建物です。役場庁舎としては全国的にも先駆的な事例であることや沖縄県における鉄筋コンクリート造建築の普及発展を理解するうえで、高い価値を有していることから、国の文化審議会から文部科学大臣に答申され、国指定重要文化財（建造物）に指定するよう10月21日に決まりました。



▲ 内 観

本村は明治41年に成立した村で、当初の役場は塩屋に置かれていましたが、明治44年に村のほぼ中央の現在地に移転しました。移転後しばらくは大宜味尋常小学校の一角に仮庁舎を構えていましたが、大正13年に庁舎の新築工事に着手し、同14年に竣工しました。国頭郡建築技手の清村勉氏が設計を手がけ、沖縄における台風や白蟻の被害に対応するため、当時の沖縄ではほとんど例のなかった鉄筋コンクリート造が採用されました。施工は金城組が請け負い、棟梁である金城賢勇氏をはじめ、大宜味村饒波出身の大宜味大工（うじみぜーく）が建築に携わりました。戦前、十分な耕地が確保できず、多くの村民が出稼ぎや移民に出るなか、村外に出て大工として活躍する人も多く、勤勉で高度な技術を持った大宜味村出身の大工が評判になり、人々は称賛を込めて彼らを大宜味大工（うじみぜーく）と呼ばれました。旧庁舎の工事ではそれまでにない八角形の型枠工事は難しく、かなりの技術が要求されましたが、高度な技術を持った大宜味大工によって完成し、名声を馳せました。5月23日に役場落成式がおこなわれた際には、近代化、文化の象徴のように人々に迎えられました。その後、第2次世界大戦の戦火も免れ、47年間大宜味村役場庁舎として使用され、昭和47年に完成した現役場庁舎に役場機能が移り、庁舎として役目を終え、現在では村史編纂室として使用されています。

大宜味村役場旧庁舎には建築当時の関係者や村民、清村勉氏、大宜味大工等の多くの先人たちの思いがこもっています。今後は国、県との連携を密にしてこの大切な宝物を活用しながら保存し、継承していきたいと考えています。

結の村 大宜味 物産・観光と芸能フェア



9月30日から10月2日の3日間、タイムスビル(那覇市)にて「結の村大宜味物産・観光と芸能フェア」が開催されました。初日のオープニングから、村民や郷友会など多くの方が駆けつけてくれました。農産物や海産物、地酒など村特産品の他、工芸品の展示即売、コンサート、芸能公演が行われ約6,000人が来場し、大宜味の魅力を満喫していました。



1F エントランス

屋外飲食ブースにおいて、「村青年会」の全国青年大会出場資金造成を絡めた出店でイノシシ汁やハイケイ丼、シークワサーシャーベット、「美ゅうびゅう」から和そばなど特産を活かした飲食ブースが出店され、準備した食材があっという間に売り切れるなど訪れた方々へ大きな話題を提供していました。屋内エントランスにおいては、シークワサーの加工品や地酒の泡盛の他、もずく、月桃製品、ミネラルウォーター、豆苗、カラキ製品など試飲や試食をして、多くの方が購入していました。また、特設ステージでは、アイモコや琉球サンバユニットの宮城姉妹、U'iOhana (ウイオハナ) フラダンス、喜如嘉小学校獅子舞クラブ、村青年会によるエイサー、シークワサーつかみ取りで賑わっていました。



2F ギャラリー

陶器や木工、オリジナルTシャツなどの展示即売、国の重要無形文化財「喜如嘉の芭蕉布」、人間国宝平良敏子さんの紹介が訪れた人の目を引き付けました。廊下やブースを使った村PRにおいて様々な魅力を紹介しました。



3F ホール

10月1日は「笑顔の花咲くファンタジックコンサート～歌と絵本の世界～」を喜如嘉出身の前田智子さんを中心とした7人のメンバーによって、絵本「ブナガヤと山善オジー」を音楽に乗せ朗読したり、沖縄や季節のメドレーで盛り上げ、フィナーレでは観客と歌を重ねて一体となり、楽しんでいました。その後、「村民俗芸能公演」では、村内各地域の受け継がれてきた民俗芸能の中から塩屋区(大川バール)幕開け「舞方」、謝名城区「七福神」「高砂」、津波区「大主(大蛇退治の踊り)」が披露され、間には村婦人会による踊りでその場を和ませました。最終日の「大宜味一心クガニー芸能協会公演」では幕開け、組踊、琉球舞踊が披露され、力強さや軽やかな手踊りが繰り広げられました。



県税・市町村税は貴重な財源です。

みなさん税金の納め 忘れはありませんか？



県税・市町村税徴収強化月間
2016年11月1日～12月28日

昨年度(2015年度)の
県税・市町村税の納付率は

95%以上



沖縄県と県内41市町村は、税の公平・公正を確保するため、連携して全県一斉に徴収を強化します。
催告しても納めない滞納者に対し、財産の差押など滞納処分を行います。

県税・市町村税は
納期内に納めま
しょう。納税に関
するご質問・ご相
談は大宜味村役場
まで

【お問い合わせ先】 大宜味村役場 財務課 ☎0980-44-3002

インフォメーション

いぎみ

お知らせ

暮

らしに役立つ
情報コーナー

沖縄県介護保険広域連合からのお願い

～介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査を実施します～

- 沖縄県介護広域連合では、65歳以上の高齢者(要介護1～5以外)に対して、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を実施します。
 - この調査は、「どの地域に」「どのような介護・支援を必要としている高齢者が」「どの程度生活しておられるのか」を把握し、今後の高齢者福祉の向上を図るための重要な調査です。
 - 平成28年12月下旬頃、郵送にて配付いたします。ご自宅等に調査票が届きましたら調査票へのご記入の上、同封の返信用封筒にてご返送ください。
- 皆様のご協力、よろしくお願いいたします。

【お問い合わせ先】 沖縄県介護保険広域連合
総務課 企画財政係 ☎098-911-7505

第21回しまんちゅ芸能

平成28年11月13日(日)15:00～
大宜味村農村環境改善センター2階ホール

【お問い合わせ先】
大宜味村教育委員会 ☎0980-44-3006

第43回 おおぎみ展

平成28年11月11日～13日
旧大宜味小学校体育館
10:00～18:00
(11日開館13時、13日閉館17時)

芸術講座「昔の玩具づくり」
12、13日 13:00～予定
企画展「わんぱく展」予定

【お問い合わせ先】
大宜味村教育委員会
☎0980-44-3006

11月は農業者年金加入推進強化月間

農業者年金をおススメする6つのポイント

1. 農業者なら広く加入できる。(農業従事日数が年間60日以上)
2. 積み立て方式・確定拠出型で安定した年金財政。
3. 保険料の国庫補助あり(認定農業者など)
4. 保険料の金額は自分で選べ、いつでも見直しができる。
5. 社会保険料控除など税制面での優遇措置
6. 終身年金(早く亡くなくても80歳までの分は保証付き)



加入は
60歳未満まで！
お早めに！！
夫婦でも
加入できます。

加入者の声

★農業者年金は農業者に必須（親子で加入）

私は国民年金だけでは十分でないので、農業者年金、個人年金の三段仕込みです。農業者年金の魅力としては「社会保険料控除」と「政策支援」と思います。「他に国の補助のある積立年金はありません。とくに若い人の5割補助は絶対にお得ですね。

(後継者の息子さんも、相談会で説明を聞き加入。)

認定農業者等に対し、保険料(月2万円)の最大5割の国庫助成(政策支援)があります。

その他の声

★農家には退職金もない。国民年金だけでは老後の生活に足りないもので加入しました。

【お問い合わせ先】 JAおきなわ大宜味支店 ☎0980-44-3133
大宜味村農業委員会 ☎0980-44-3477

第2回 チャリティークリスマスコンサートについて



日時:平成28年12月4日(日)午後3時
場所:大宜味村立大宜味小・中学校体育館
入場料:大人1,000円

【お問い合わせ先】大宜味村チャリティーコンサート実行委員会
☎080-6493-0136(実行委員長 山川清) ☎090-6862-8954(国吉栄治)



平成28年度 シークワサー種苗購入申込について

大宜味村シークワサー産地振興協議会は、シークワサーの生産量の確保と低木化更新の普及を推進し、シークワサー果実の品質向上を図る事を目的として下記の日程にて種苗購入申込を行います。

- ◇対象者: 1. 大宜味村内で生産をしている農業者(農業委員会で農業者登録をしている農家)
2. シークワサー生産振興に賛同し、協力できる生産農家
3. 村税の滞納のない人

◇募集期間: 11月1日(火)~11月30日(水)まで

◇申込方法: 役場産業振興課窓口配布の申請書にて

※申込希望の方は、販売要領についての説明がありますので、申込書受取を申込者本人にて行って下さい。

また配布時期については審査後、申込者へご連絡します。



【お問い合わせ先】 大宜味村産業振興課 農政係(宮城) ☎0980-44-3232

沖縄県身体障害者スポーツ大会

10月8日、「第52回沖縄県身体障害者スポーツ大会」が県総合運動公園陸上競技場において開催されました。大宜味村からは村身協から3名と一心療護園から3名の選手が参加し、意識と意欲を高め、お互いの交流を深めながら各種目で健闘しました。福祉地区対抗の肢体・視覚・聴覚・車いす(障害別リレー)においては、4人中2人の選手が大宜味村の選手で、惜しくもメダルは逃しましたが、北部福祉地区チームへ大きく貢献しました。



競技結果 ⇒	古波蔵 義照	100m	2位
	嵩原 章	車いす100m	2位
	赤嶺 吉正	フライングディスク	3位



おおきみ生物多様性シンポジウム

10月24日、大宜味村農村環境改善センターにて「おおきみ生物多様性シンポジウム」(主催:村生物多様性センター運営協議会)が開催されました。同センターは村の豊かな自然を活かした未来のためにNPO法人やんばる舎と村が共同で平成27年8月に設立したものです。シンポジウムでは、ウグイスや秋の虫の他、サイ、カバなどあまり知られていない動物の鳴きまねを交える落語家の江戸家子猫さんの講演や大宜味小児童の自然観察成果発表(喜如嘉タープクの野鳥観察、屋古のチョウの研究)、同センター長の市田則孝さんによる講演がありました。



▲江戸家さん(右側後ろ姿)と児童

宮城功光村長からは「子ども達の野鳥観察やチョウの研究がこのような形でやってくれているのも、地域の人達が地域を大切にしてくられたこと、その子ども達の活動に協力して下さった多くの方がいるおかげです。これからも、村民が一体となって自然に対する関心を高め、子ども達の研究などを通して、自然を守ることへ繋がっていかれたらと思います。」と感謝の言葉を述べました。今年9月15日「やんばる国立公園」として指定された環境や今後の取り組みについて考えさせられるものとなりました。

日本一交通安全な村をめざして

9月27日、大宜味小学校・中学校体育館で「その酒で 失う信頼 家族の未来」をスローガンに大宜味村交通安全推進村民大会(主催:大宜味村・村交通安全推進協議会)が開催されました。大会では「夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止」や「飲酒運転根絶」等の運動の重点目標を確認しました。また、交通安全作文コンクールの成績発表では下記の16人が表彰され、意見発表では、小学校3年生奈良樹くん、小学校5年生安里満帆さん、中学校1年生宮城健大くん、村老人クラブ連合会会長平良松信さんの4人が自らの体験を語り交通ルールを守る大切さや想いを伝えました。



名護警察署長賞	奈良 樹(小学校3年生)	安里 満帆(小学校5年生)
名護地区交通安全協会賞	福地美楽惟(小学校4年生)	我部喜歩子(小学校2年生)
村交通安全推進協議会入賞	山川 紅麗(小学校1年生)	島袋 愛埜(小学校5年生)
	宮城 はち(小学校4年生)	幸野莉々巴(小学校6年生)
	大城 愛羅(小学校6年生)	平良明日香(小学校6年生)
	上地 涼(小学校6年生)	與那嶺りる(小学校4年生)
	宮城妃奈野(小学校6年生)	上原 蓬(小学校5年生)
		金城 勇斗(小学校6年生)
		平良 琉翔(小学校6年生)

お詫び

広報No.259(10月号)
3ページ『新100歳祝い』
で大宜味村社会福祉協議
会会長を「平良盛雄」とあ
りましたが、正しくは「平良森雄」の誤り
でした。また、7ページ「大宜味村陸上競
技大会」で40代100M上原美香さんの記
録を16秒03とありましたが、正しくは
16秒30の誤りでした。お詫びして訂正
致します。



平成28年 大宜味村むらづくり 応援寄附

	9月分	累計(1~9月)
件数	127件	2,106件
金額	2,205,000円	40,930,000円

県内外より本村にご寄付頂き心よ
り感謝申し上げます。

村の人口

9月末現在

男 1,638人(+1)
女 1,520人(±0)
計 3,158人(+1)

世帯数 1,654世帯数(±0)
出産 2人 転入 10人
死亡 2人 転出 9人

※注()内数は対前月比

第28回 ツール・ド・おきなわ2016 11月12日(土) 13日(日)開催~

日本最大級のサイクルイベントがやんばるで開催!!

今大会は、国際レース部門3種目、市民レース部門11種目、サイクリング部門9種目、関連イベント2種目の合計25種目を
日本最大級のサイクリングスポーツの祭典として、全ての人が楽しめる大会を開催致します。

スタート時間	6時45分~ 8時00分	フィニッシュ 予想時間	8時20分~ 9時40分頃(50Km系) 11時40分~14時20分頃(210Km系)
--------	--------------	----------------	--

11月13日(日)は沖縄県北部地域(やんばる)で交通規制が行われます。

国道58号線大宜味村区間において 7:40~9:50頃の間、規制されます。

ツール・ド・おきなわ大会は、多くのボランティアの皆さまのおかげで開催出来ております。地域の皆さまによる会場・沿道での応援よろ
しくお願い致します。 交通規制についての詳しい情報は <http://www.tour-de-okinawa.jp>

【お問い合わせ先】 ツール・ド・おきなわ大会事務局 ☎0980-54-3174

11月

November December

11月1日~12月10日

大宜味村カレンダー



1 火 ◆区長会

2 水

3 木 文化の日

4 金 ◆乳幼児健診 ◆県広域地震・津波避難訓練

5 土

6 日 ◆わんぱく体験団⑥終了式

7 月

8 火

9 水 ◆国頭地区 童話・お話大会(名護市大会)

10 木

11 金 ◆おおぎみ展~13日 ◆秋の遠足(幼稚園)

12 土 ◆2016ツール・ド・おきなわ~13日 ◆国頭地区ミニバスケットボール交歓会~13日
◆第65回全国青年大会(男子・軟式野球、女子バスケットボール~14日)

13 日 ◆しまんちゅ芸能

14 月

15 火

16 水

17 木

18 金

19 土 ◆県立図書館移動図書館(改善センター)
◆国頭地区ミニバスケットボール交歓会~20日

20 日

21 月

22 火

23 水 勤労感謝の日

24 木 ◆大宜味小修学旅行~25日

25 金

26 土 ◆沖縄県民体育大会(南部地区)~27日

27 日

28 月

29 火

30 水

12月 December

1 木 ◆区長会

2 金

3 土 ◆「あの日、僕らは戦場で」上映会14:00~16:00 改善センター

4 日 ◆第2回チャリティークリスマスコンサート

5 月

6 火 ◆大宜味中修学旅行~9日

7 水

8 木

9 金 ◆生活発表会(幼稚園)

10 土 ◆ぶながや生活発表会(喜保) ◆生涯学習⑤

※このカレンダーは予定ですので、都合により変更されることがあります。各業務については電話等で確認してください。



村内アレコレ

大宜味小ミニバスチーム初のアベック優勝



10月15日、第46回辺土名地区ミニバスケットボール交歓会が国頭村立総合体育館にて開催されました。新生・大宜味小学校として男女A・Cチームが出場しました。男子Aチームの1回戦は有銘小学校に31-28、2回戦においては東小学校に58-40で2勝し、初優勝となりました。女子Aチームの1回戦は辺土名小学校に27-17、2回戦も東小学校に66-27で2勝し、前大会に引き続き2連覇となりました。新生・大宜味小学校として初のアベック優勝となりました。男子チームの我那覇丞祐さんは「優勝できて嬉しかった。」と謙虚に答え、女子チームの金城まひろさんは「友情・ほほえみ・フェアプレイの精神でプレイした。国頭地区でも良い成績を残したいです。」と意気込みを語りました。

南米移住者子弟研修生受入



9月20日、平成28年度大宜味村南米移住者子弟研修生として、ブラジル国から具志堅・レアンドロ・リュウジさん(写真 前 列右から3番目)が来沖しました。具志堅さんは喜如嘉区から移住した、仲田カツ子さんの孫にあたり、12月10日までの間、村内外・県外での研修やイベント交流を予定しておりますので、見かけた際は激励をお願いします。

地元で初の自主公演「二葉踊り」

9月25日、沖縄国際大学の琉球芸能文学研究会による「二葉踊り」が塩屋公民館にて行われました。同研究会は平成15年に発足し、琉球舞踊や民俗芸能を学び舞台芸能に取り組んでいます。今回の舞台は学生が企画した単独の自主公演となり、初めての開催になります。公民館には、区民など約180人が集まり、華やかな四つ竹で幕を開けや述懐節の独唱の他、「毛遊び」と題した歌と踊りなど多彩な演目を楽しんでいました。



同研究会の副会長は地元塩屋出身の宮城力也さん(4年次)は「初めての自主公演は是非ここで発表したいと思っていた。たくさんの方に来て頂いて本当に嬉しい。」と笑顔で語りました。なお、12月24日には那覇市にいるホールで一年の集大成「双葉踊り」公演が予定されています。

田嘉里区豊年踊り

10月9日、田嘉里区の豊年踊りが同区集落センター広場舞台で行われました。ベテランの踊り手達に交り、獅子舞や舞踊など多くの演目に地域の子ども達が出演し、日頃の練習の成果を披露しました。初めて豊年踊りに参加した子どもからは「たくさんのお客さんにびっくりしたけど、練習通り踊ることができた。」と充実感をのぞかせていました。伝統的な奉納舞踊の他、婦人会による「ハイサイおじさん」では会場を笑いで盛り上げ、2年に1度の伝統行事を楽しみました。



やんばるの産業まつり

10月8日、9日の両日、第32回やんばるの産業まつりが名護市21世紀の森体育館を主会場に開催されました。会場では、やんばるの特産品販売や市町村関係団体による展示が行われ、大宜味村の展示ブースでは、シークワサー関連商品をメインとし、村産の特産品や工芸品をPRしました。また、奄美・やんばるの交流事業の絵画展、やんばるの伝統芸能祭など多くの出店で賑わいを見せました。野外ステージのアトラクションでは、大宜味村婦人会によるシークワサー音頭や村饒波区の「鶴亀」が披露され、まつりの最後には村青年会によるエイサーで会場を魅了しました。

